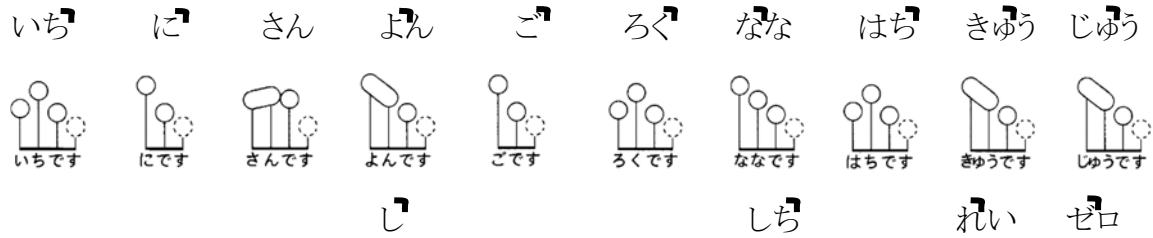
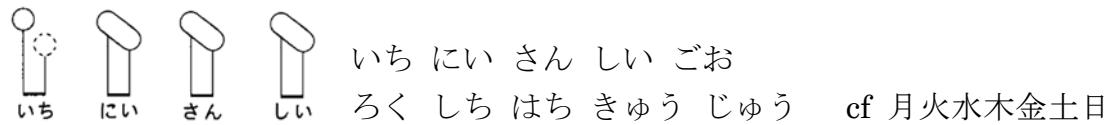


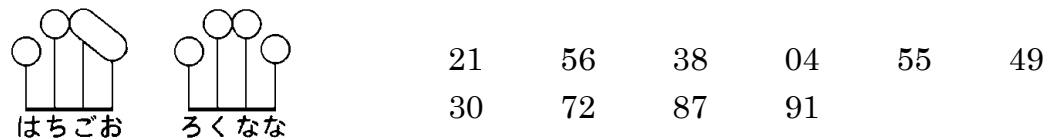
数字の言い方



数えるときは、2 拍 1 型アクセントで言う



2 つの数字でひとつのことばの場合は、4 拍 3 型アクセントで言う



3 つ以上の数字でひとつのことばの場合は、先頭から 2 つずつ区切って言う。

最後の 1 つの数字は、ふつうに言うか 2 拍 1 型アクセントで言う。

5 つ以上の数字の場合は、先頭から 4 つめで大きく区切ることが多い。

部屋番号の場合は真ん中のゼロを「まる」と読む。

ななごお いち さんいち ろくろく いちまる さん

416 841 268 5888 1044 117 177 911

電話番号の先頭は「ゼロ」と読む場合が多い。ただし、放送など正式な場では英語のゼロでなく、中国語を語源とする「れい」と読む。ハイフンは「の」と読む。

市内局番が 2 桁の場合、「にいいちの」のほかに「二十一の」と読むこともある。

851-2196 095-840-2001 095-820-6338 0422-33-3110

03-5803-5029 0592-32-1211 075-753-2043 07437-2-5111